

科目名	母性看護学援助論Ⅱ (女性医療ケア) Women's Health		担当教員 (研究室番号)	永見 桂子 (102) 大平 肇子 (104)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	永見:keiko.nagami@mcn.ac.jp 大平:motoko.oohira@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次前期	科目区分	専門科目		選択区分	コース必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
												遠隔授業
科目目的	女性医療ケアにおける最新の知識・技術、ガイドラインについて学び、関連する最新のエビデンスを獲得する方法を理解する。女性のライフサイクル全般にわたる健康問題を解決する女性医療ケアの役割と専門性、女性医療ケアシステムとその組織化に関する理論、生涯を通じた女性の健康をまもる保健政策、男女共同参画社会政策について学び、看護のあり方を探究する。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。										
	関連するDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
到達目標	1. 女性医療ケアにおけるエビデンスの活用、ガイドラインとその意義について理解することができる。 2. 女性医療ケアシステムとその組織化、女性の健康をまもる保健政策、男女共同参画社会政策について理解することができる。 3. ライフサイクル全般にわたる医療ケアを受ける女性とその家族への看護のあり方について理解することができる。											
成績評価方法(基準)	レポート(50点)、プレゼンテーション(40点)、ディスカッションへの参加状況(10点)											
教科書	必要時、紹介します。											
参考書等	必要時、紹介します。											
受講者へのメッセージ	包括的な視点で文献検討およびディスカッションをとらして看護について探究していきます。常に課題意識を持ち、主体的・積極的な取り組みを期待します。											
備考												
回	学習項目		学習内容					主担当教員	授業方法			
1回	女性医療・看護の歴史的・文化的背景①		女性の生涯と文化・社会の移り変わり、セクシュアリティの歴史的背景、女性の健康指標の動向を概観し、女性医療ケアにおける課題を見出す。					永見	講義			
2回	女性医療・看護の歴史的・文化的背景②		女性医療ケアにおける課題をとりあげ、プレゼンテーションとディスカッションをとらして、医療ケアを受ける女性とその家族への看護のあり方について検討する。					永見	演習			
3回	女性医療ケアとエビデンスに基づく実践(EBP)①		EPBのプロセス、実践方法について理解し、女性医療ケアにおけるEBPの適用について学ぶ。					大平	講義			
4回	女性医療ケアとエビデンスに基づく実践(EBP)②		EBPによる女性医療ケアの実例をとりあげ、プレゼンテーションとディスカッションをとらして、研究の運用とEBPとの相互関係に関する理解を深める。					大平	演習			
5回	女性医療ケアにおける各種ガイドラインとその意義①		女性医療ケアにおける各種ガイドラインの意義について学ぶ。					永見	講義			
6回	女性医療ケアにおける各種ガイドラインとその意義②		女性医療ケアのガイドラインをとりあげ、プレゼンテーションとディスカッションをとらして、女性のライフサイクル全般にわたる意思決定支援について理解を深める。					永見	演習			
7回	女性医療ケアシステムとその組織化に関する理論と実際①		女性のメンタルヘルス(産後うつ予防対策、災害とジェンダー主流化)など女性の健康問題に関する社会システムの構築について学ぶ。					永見	講義			
8回	女性医療ケアシステムとその組織化に関する理論と実際②		セクシュアルヘルス、セクシュアルカウンセリング、ライフプラン教育など女性の生涯にわたる健康支援に必要な社会システム構築について学ぶ。					大平	講義			
9回	女性医療ケアにおける看護政策の課題と看護政策立案①		女性医療ケアにおける専門看護師の役割と実践活動、自律と裁量権などの視点から看護政策の課題と看護政策立案、看護職の社会参画について学ぶ。					永見	講義			
10回	女性医療ケアにおける看護政策の課題と看護政策立案②		生涯を通じた女性の健康をまもる保健政策、男女共同参画社会政策、女性医療の安全とリスクマネジメント、女性医療ケアの質保証について学ぶ。					永見	講義			
11回	ライフサイクル全般にわたる女性とその家族の看護①		思春期特有な健康問題をとりあげ、女性医療ケアに関わるエビデンスを具体的事象から検討する。 ・性感染症(STI)、若年妊娠、人工妊娠中絶など					大平/学外協力者	演習			
12回	ライフサイクル全般にわたる女性とその家族の看護②		成熟期特有な健康問題をとりあげ、女性医療ケアに関わるエビデンスを具体的事象から検討する。 ・働く女性の健康問題、月経障害・不妊、DVなど					大平	演習			
13回	ライフサイクル全般にわたる女性とその家族の看護③		更年期特有な健康問題をとりあげ、女性医療ケアに関わるエビデンスを具体的事象から検討する。 ・更年期障害、尿失禁、生殖器系のがんなど					永見/学外協力者	演習			
14回	ライフサイクル全般にわたる女性とその家族の看護④		老年期特有な健康問題をとりあげ、女性医療ケアに関わるエビデンスを具体的事象から検討する。 ・セクシュアリティ、萎縮性膀胱炎、骨粗鬆症など					永見	演習			
15回	女性医療ケアの充実と将来展望		女性医療ケアの充実に向けた課題と看護が果たすべき役割と専門性について展望する。					永見	講義			